

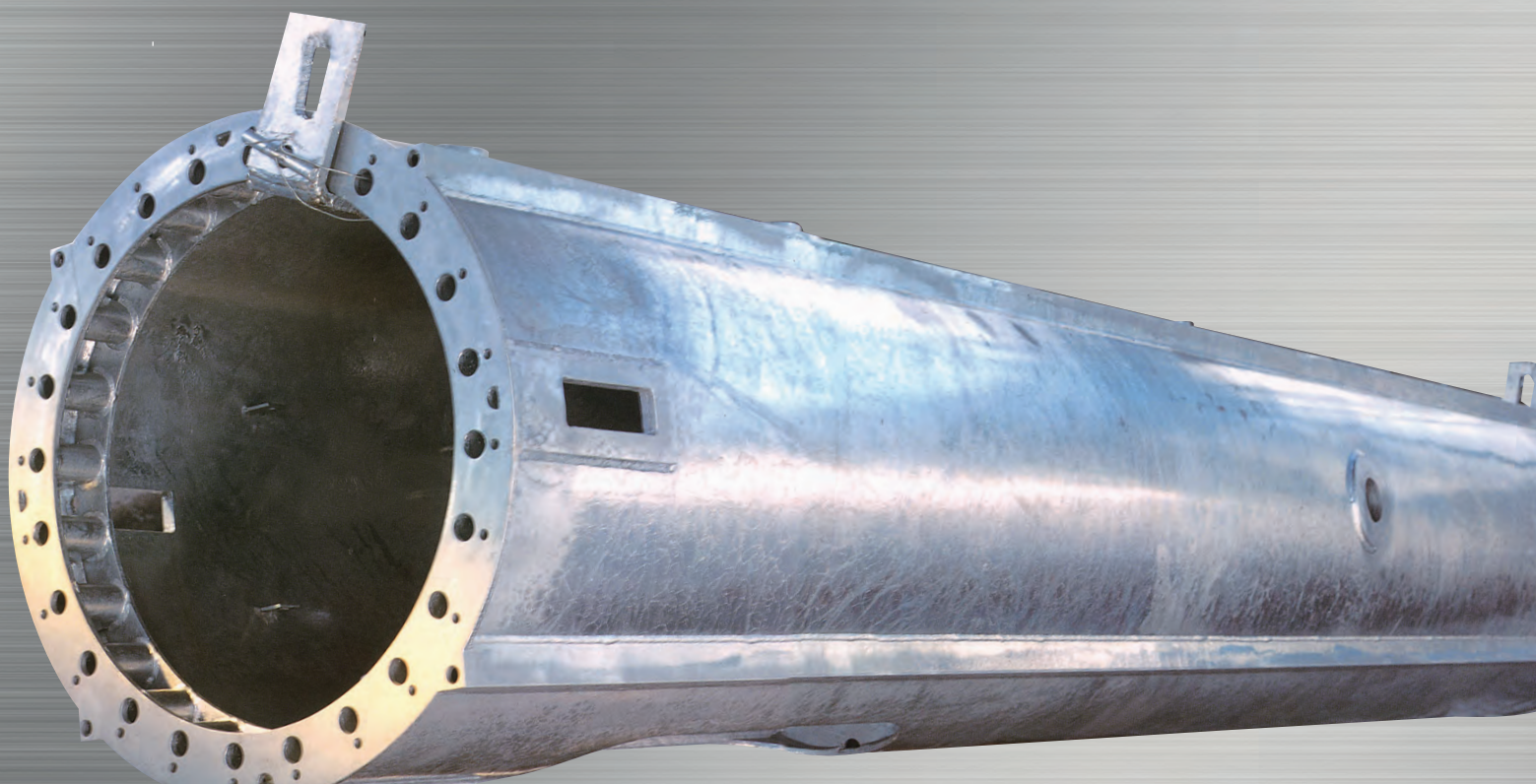
メ
ッ
キ
加
工
の
プ
ロ
集
団

ONUMA



JISマーク表示の認証取得 (JIS H8641)

有限会社 **小沼亜鉛メッキ工業所**





MESSAGE ごあいさつ

心ひとつに 精鋭無比

近年、建築構造物・施設構造物はより大型化し、その防錆加工も複雑かつ高度化しています。このような環境の中、当社は亜鉛メッキのエキスパートとして、鉄塔や立体駐車場などの大型構造物にも対応できる釜の増設や大型クレーン、ロボットなどの最新設備と高い技術力を整え、発展してきました。

顧客の皆様には、“安い” “きれい” “早い” を企業ビジョンとし、そのための体制と敷地面積約 50,000㎡という広いスペースの確保も実現しました。さらに、このビジョンをより強固なものとするため、小沼亜鉛メッキ工業所は材料の仕入れから製作、メッキ加工、組立、販売まで行い、総合物流システムを確立しました。

また、当社の所在する稲敷地域は、圏央道の開通に伴い、製品納入もさらにスピーディになりました。

有限会社小沼亜鉛メッキ工業所グループは、これからも防錆加工を通じて、社会に貢献できるよう努力する所存ですので、今後とも格別のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。





有限会社小沼亜鉛メッキ工業所
代表取締役 小沼 哲雄

創業者精神

安い きれいな

HISTORY 会社沿革

1977 (昭和52年) 5月	1980 (昭和55年) 12月	1986 (昭和61年) 8月	1987 (昭和62年) 5月 11月	1988 (昭和63年) 11月	1989 (平成元年) 12月	1990 (平成2年) 4月	1992 (平成4年) 7月	1994 (平成6年) 8月	
小沼政市・和代により小沼亜鉛メッキ工業所を創立 小釜寸法 L1500× W600×H800 (L=長さ W=幅 H=高さ)	小釜寸法 L3000× W600× H800に 拡張	日綜産業(株)と仮設足場材溶融亜鉛メッキの取引を開始	有限会社小沼亜鉛メッキ工業所を設立 小沼政市が代表取締役に就任 資本金500万円	中釜寸法 L5600×W1200×H1400 を増設	ジャストジャパン(株)と立体駐車場溶融亜鉛メッキの取引を開始	小釜寸法 L3000×W600×H800を L5600×W1400×H1800に拡張	資材センターとして小沼商事(株)設立 資本金500万円	大釜工場増設 大釜寸法 L7600×W1600×H1800	大釜寸法 L7600×W1600×H1800を L12300×W1600×H2000に拡張
 小沼 政市	 小沼 絹代								

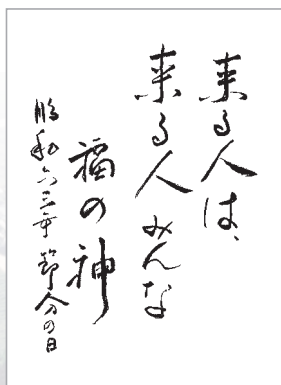


MANAGEMENT PHILOSOPHY

経営理念

- 一、顧客本位の良品質の製品を提供し、顧客の要求を満たした製品を適正価格で提供する。
- 一、社員にとって働き甲斐のある、安全で明るい職場作りを目指す。
- 一、常に前向きに物事をとらえた経営を行い、社会に貢献出来る企業を目指す。

弊社の経営理念を真に実践し、有限会社小沼亜鉛メッキ工業所の一丁目一番地であるスローガン“心ひとつに精鋭無比”まさに高い志を胸に刻み、匠の技術力で高水準のメッキ加工を行っています。



PROFILE

会社概要

社名/有限会社 小沼亜鉛メッキ工業所
 代表者/代表取締役 小沼 哲雄
 設立/昭和62年5月6日
 資本金/5,000,000円
 事業内容/溶融亜鉛メッキ・鉄鋼製品の製作加工、組立、運輸、販売
 従業員/40名
 本社・工場/〒300-0513 茨城県稲敷市桑山1304番地
 TEL.029-892-1161(代) FAX.029-892-1438
 敷地/50,000㎡
 建物/事務所300㎡、工場2,000㎡

主要取引銀行

常陽銀行・茨城県信用組合・筑波銀行

関連会社

アメリカンスチール株式会社



〈複写〉

早いをモットーに!!

1995 (平成7年) 8月
 1998 (平成10年) 2月 5月 11月
 2004 (平成16年) 1月
 2005 (平成17年) 2月
 2009 (平成21年) 7月
 2011 (平成23年) 7月
 2014 (平成26年) 7月
 2017 (平成29年) 7月
 2020 (令和2年) 7月
 2023 (令和5年) 8月

- 鉄骨加工部門として小沼商事(株)資本金1000万円に増資
- 製品検査場及び製品滞貨場を新設
- 溶融亜鉛メッキ対象物の減少により、小釜、中釜を停止
- 三井造船(株)千葉事業所と造船パイプ及び小物関係溶融亜鉛メッキの取引を開始
- 東北代理店を宮城県柴田郡大河原町字新東8-7に開設
- パイプライン専用仕上げ場及び製品検査場を新設
- 有限会社小沼亜鉛メッキ工業所代表取締役に小沼哲雄が就任
- JISマーク表示の認証取得
- JISマーク表示の認証更新
- JISマーク表示の認証更新
- JISマーク表示の認証更新
- JISマーク表示の認証更新



できない、とは言わない メッキ加工のプロ集団

納期でお困りの方は、
当社がソリューションを提供致します。

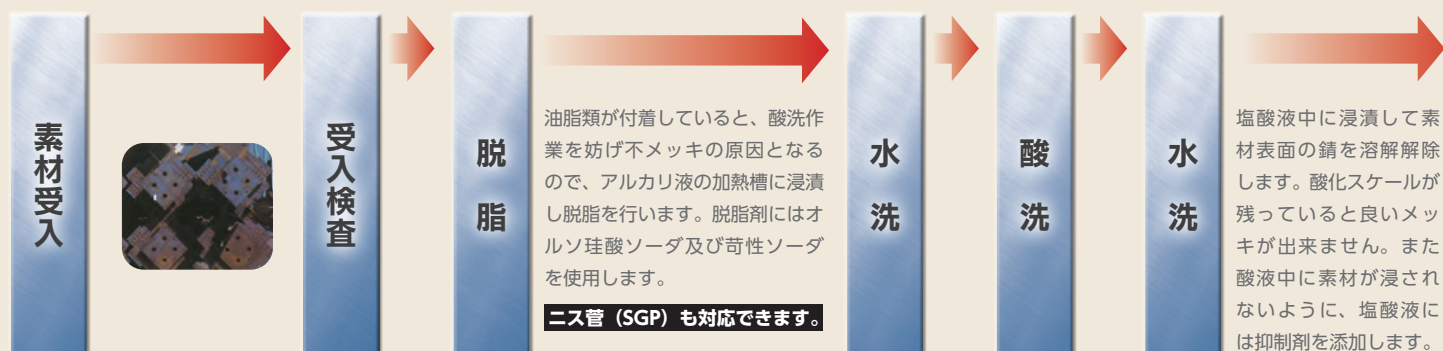


メッキ加工

操作室

事務所

優れた工程管理が製品の品質を決定しています





酸ミスト処理プラント



排気浄化プラント



排気浄化プラント



工場全景

主要設備

設備	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	数量	設備	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	数量
メッキ槽	12,300	1,600	2,000	1基	塩酸槽	12,000	2,000	1,700	1槽
脱脂槽	12,300	1,600	2,000	1槽	//	10,000	2,000	1,700	1槽
水槽	12,000	1,600	2,000	1槽	フラックス槽	12,300	1,600	2,000	1槽
塩酸槽	13,000	1,500	1,400	1槽	フォークリフト	3 t			3台
//	8,000	1,500	1,600	2槽	//	3.5 t			1台

機械設備

天井走行クレーン	7台	門型クレーン	2台	プレス矯正機	1台
----------	----	--------	----	--------	----

フラックス処理

塩化亜鉛アンモンの溶液に浸漬しフラックス処理を行います。これによって酸洗後に生成した素材表面の酸化物や酸洗で除去出来なかった微量の酸化物を除去すると共に、メッキ時の鉄と亜鉛との反応を促進させます。

亜鉛メッキ

フラックス処理の終わったメッキ素材を、亜鉛メッキ槽に浸漬してメッキを行います。亜鉛メッキの付着量は亜鉛の温度と浸漬時間により管理いたします。

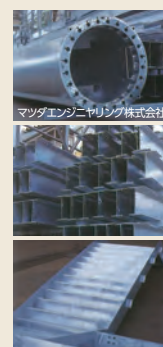
冷却

仕上げ

※お客様の要望により、白錆防止処理を行います。

製品検査・試験

出荷



マツダエンジニアリング株式会社

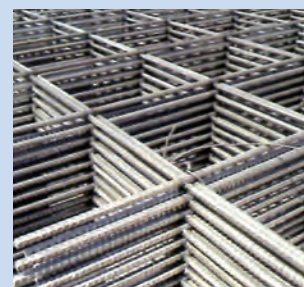
身近な建物から、あの大型建造物まで 伝統と革新が光る実績の数々



太陽光用架台



新国立競技場



長野オリンピックスタジアム



立体駐車場 (アメリカンスチール(株))



橋脚



ゴルフ場観客席

亜鉛メッキ製品の主な用途 (インフラ)

電力・通信関係

鉄塔鉄構類、鋼管柱、架台、ケース、ポール、パラボアンテナ、トランス用ラジエーター、エアタンク、架線金物、コンジット、その他

建築関係

鉄骨構造物、工場建屋、屋外ヤード、架台、コンクリート補強材、デッキプレート、ガス水道用鋼管、継手、仮設足場、安全棚、階段、物干し台、サッシ、シャッター、フェンス、遊戯施設、その他

土木関係

橋梁、陸橋、ガードレール、ハンドレール、フェンス、道路標識、標識塔、照明塔、シグナルとシグナルボックス、コルゲートパイプ、スノーセット、ロードマット、パイル、グレーティング、ボックスウォール、給排水管、その他

鉄道・運輸関係

架線金物、道床材料、フェンス、鉄橋、鋼製貨車、客車用水槽、温水器、鉱石運搬車、索道用鉄構、その他

船舶・漁業関係

外板、曲直管、マスト、ベンチレーター、ダクト、タラップ、手すり、グレーティング、キール、タンク、暖房冷凍施設、錨鎖、集魚灯、その他

農業・畜産関係

畜舎、鶏舎、養蚕ハウス、温室、貯蔵庫、フェンス、サイロ、貯水槽、排水溝、エロフィニヒーター、その他

環境・衛生関係

くず箱、パケツ、ボイラー、風呂釜、温水器、冷暖房施設、貯水槽、じんかい焼却器、その他

亜鉛メッキ皮膜の性能と性質

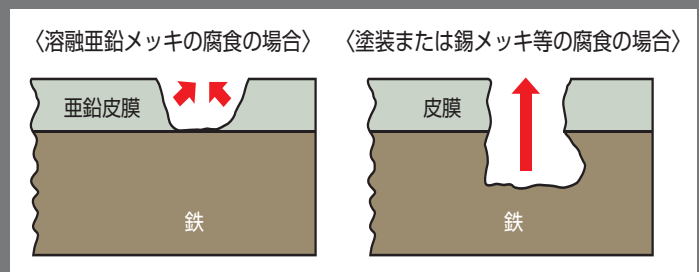
優れた技術と設備による 高品質の溶融亜鉛メッキ

鉄鋼製品の表面に施された亜鉛メッキ皮膜は、外部の腐食環境より鉄鋼製品を保護する、保護皮膜となります。

さらに、亜鉛メッキ皮膜が破損して鉄素地が露出しても、その周囲の亜鉛が電気化学作用（ガルバニックアクション）を起こして、鉄素地を錆から守ります。この電気化学作用は、異種金属間に発生する金属電池の働きとして説明されています。すなわち、鉄よりもイオン化傾向の高い亜鉛が犠牲となって、鉄鋼を腐食から守り続けます。



マツダエンジニアリング株式会社



鉄を用いる構造物は、防錆を維持することで長期の耐用も実現します。

POINT
01

耐食性の向上

溶融亜鉛メッキは、鉄鋼製品の表面に亜鉛の保護皮膜を作り、電気化学作用（ガルバニックアクション）による優れた防錆効果が得られるので、大気中や海水中、土壌中においても優れた耐食性能を発揮します。

POINT
02

経済性の向上

長期間にわたって防食効果がありますので（地域差はあります）補足的な防食手段はほとんどありません。理論的には、表面の亜鉛メッキ層が電気化学作用により、完全に消耗されつくすまで鉄鋼製品を錆から守りますので、長期の防食を目的とする場合などの防錆法と比較して最も経済的です。

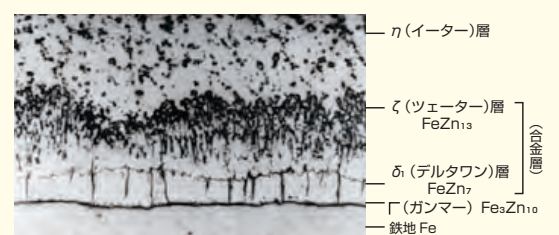
POINT
03

密着性・均一性の確保

溶融亜鉛メッキは他の塗装と違い、鉄素地と亜鉛の合金科学反応により密着しておりますので、過激な衝撃や摩擦以外に剥離することはあまりありません。

また、複雑な構造物の内面コーナーなど、目に見えない部分まで、内外共に均一な保護皮膜が得られます。

■ メッキ皮膜断面



- η 層は緻密な組織を示し、複雑な六方晶系の構造で、靱性、延性に富んでいるのが特徴です。
- ζ 層は皮膜中最も顕著なもので単斜晶系に属し、柱状組織を示します。
- η 層は最上部の亜鉛層で、網密六方晶系に属し、軟かく展延性に富み、変形加工を受けても破れる事はありません。



第二工場



本社工場

本社工場外観



第二工場外観

会社概要

社名	アメリカンスチール株式会社	第二工場	〒300-0511 茨城県稲敷市高田947番地の2
代表者	代表取締役 渡辺 利男		TEL.029-869-8181 FAX.029-869-8182
設立	平成2年4月24日	敷地面積	本社工場(930坪) / 第2工場(5,000坪)
資本金	10,000,000円	工場面積	本社工場(450坪) / 第2工場(500坪)
従業員	30名	営業品目	一般建築(鉄骨) 鉄鋼製品の製作 自動倉庫製作(ラック) 立体駐車場施工
本社工場	〒300-0511 茨城県稲敷市高田55番地の2	関連会社	有限会社 小沼亜鉛メッキ工業所
	TEL.029-892-1960(代) FAX.029-892-1945		

ACCESS



有限会社 小沼亜鉛メッキ工業所

〒300-0513 茨城県稲敷市桑山1304番地
 TEL: 029-892-1161(代) FAX: 029-892-1438
 E-mail: onuma@onuma-aen.com(代表)
 onumamekki525@yahoo.co.jp(品質管理部門)
 URL: <http://www.onuma-aen.com/>



動画



HP